

# 日本初の女医 足跡描く

## 映画完成、さいたままで試写会



映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」の完成試写会で、写真に納まる山田火砂子監督(左端)と若村麻由美さん(右奥)ら=さいたま市で

県内などで来月26日公開

近代日本初の女性医師、荻野吟子(一八五一〜一九一三年)の半生を描く映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」が完成し、二十九日夜、さいたま市内で試写会が開かれた。主演の若村麻由美さんは「憧れと尊敬を持って演じられたことを誇りに思う」とあいさつした。

上映に先立ち、山田火砂子監督(ハセ)は昨年発覚した医学部不正入試問題での女性差別に触れ、逆境に負けず医師への道を切り開いた吟子を「どんどん好きになり、友達になったように感じた」と語った。試写会には関係者や一般客約二百人が集まった。吟子は現在の熊谷市出

身。三十四歳で国家試験に合格して日本初の女性医師となった。東京や北海道で医院を開き、多くの女性医師も育てた。映画のタイトルは、地面に落ちた一粒の麦が多くの実を結ぶことになぞらえた。

映画は十月二十六日に東京と埼玉県で公開が始まり、北海道や愛知県などでも予定している。